

市民建産常任委員会報告書

令和 5 年 2 月 22 日
委員長 古賀 誠 視

市民建産常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際しましては、令和 5 年 1 月 19 日、1 月 30 日に関係部課長等に出席を求め、委員会を開催いたしました。

市民部 環境課

環境整備係から、令和 4 年度版古賀市環境報告書、うちエコ診断会による啓発、KOGA 環境ひろばの開催、飼い主のいない猫に関する取組の報告がありました。

資源循環推進係から、生ごみ処理機器購入費補助事業、資源循環に関する啓発、大根川一斉清掃の報告がありました。

海津木苑から、処理状況、海津木苑施設等啓発、汚泥再生処理センター整備事業の報告がありました。

委員から、古賀市の特性に合った再生可能エネルギー等の調査研究を行うとあるが、どのように進めるのかとの問いに、太陽光のポテンシャルを生かし、家庭、事業所、公共施設に最大限効果を発揮できるように検討を進めていきたいとのこと。

市役所正面駐車場で実施している分別収集の今後の取組はとの問いに、今後も第 1、3、5 土曜日に継続して実施する予定。また、市役所正面駐車場近くで分別収集を行っている自治会から、ごみの収集量が少なく、来る方も少ないといった収集の回数についての相談を受けているが、自治会の分別収集は、主体的に自治会で区長や役員が検討し、実施されていることから、市が介入することは難しいとのこと。

市長が所信表明等においてワンヘルスを推進するとあったが、古賀市はどのようにワンヘルスに取り組むのかとの問いに、市ではこれまで地域猫活動や高齢者のペット飼育等、動物と人との共生社会を築き上げていくための啓発を進めてきた。今後、ワンヘルスの周知啓発活動や講座等を県と連携し、県の取組を参考にしながら推進していきたいとのこと。

市民国保課

市民係から、令和 4 年 12 月末の人口、外国人国籍別人口、個人番号カード交付枚数、コンビニ交付サービス利用実績、令和 5 年 3 月・4 月の休日開庁予定の報告がありました。

国保係から、国民健康保険世帯数等の報告がありました。性同一性障がいの方の通称名の保険証への記載について、これまで表記変更の申請があった際には、保険証に手書きで通称名を記載していたが、昨年 12 月に市の国保のシステムを更新したことに伴い、保険証への通称名の印字が可能になったとの報告がありました。

年金・医療係から、国民年金加入者数、後期高齢者医療被保険者数、重度障がい者医療受給者数、ひとり親家庭等医療受給者数、子ども医療受給者数の報告がありました。

委員から、令和 4 年度分の個人番号カード交付率が 58.4%とあるが、国が求めている交付率を実現できているのかとの問いに、国は、今年度中に全国民に行き渡るように目標を設定している。

現在、古賀市は国の平均を少し上回っている状況であり、今後の交付率としては、3月末までに67%を予測しているとのこと。

性同一性障がいの人に対する保険証の表記変更の周知について、他課との連携の状況はどの問いに、今回、保険証の表記変更についてのチラシを人権センターと連携して作成しており、今後も連携を図りながら周知を行うとのこと。

国保のシステムの改修費はどの問いに、国保標準システム導入に関する改修全体として、令和3年度予算と令和4年度予算で合計約3,500万円を要したとのこと。

人権センター

人権教育・啓発係から、人権教育・啓発事業、人権相談事業、人権関係団体活動推進事業の報告がありました。

男女共同参画・多様性推進係から、女性の活躍推進支援事業、性的マイノリティ支援事業の報告がありました。

委員から、市民国保課で行う性同一性障がいの人の通称名の保険証への記載に関連して、庁内の様々な窓口で関係すると思うが、他課との連携はどの問いに、男女共同参画・多様性推進係において、市役所全課の窓口にはレインボーフラッグを設置している。また、市職員全員が性的マイノリティに関しての研修を受講していることから、一人一人の職員が対応できると考えているが、さらに周知を徹底していくとのこと。

収納管理課

収納管理係から、令和4年度収納状況、令和4年度滞納処分状況の報告がありました。

その他として、インターネット公売を1月12日から31日までの間に実施。併せて、期間公売会を古賀市役所内で2月22日から3月3日までの間に実施予定との報告がありました。

固定資産税及び軽自動車税は、令和5年4月1日以降の納付がQRコードによりeLTAX（エルタックス）を通じて電子的に可能となる。概要としては、地方税お支払いサイトから支払い手続を行うことに伴い、以前は九州管外の方は、ゆうちょ銀行、郵便局及びコンビニでしか支払うことができなかったが、地方税統一QRコード対応金融機関でも支払いが可能となるとの報告がありました。

委員から、検索が3件あがっているが、現在の検索状況は。また、検索は県外まで及んだのかとの問いに、新型コロナの第8波が始まる前は検索を行っていたが、現在、第8波が拡大していることから控えている。また、県外への検索は県税事務所に依頼している。県外の人に対しては、主に預金等の財産調査を行い、差押え等を実施しているとのこと。

市税課

市税課長から、税の申告について、年金所得者は新型コロナ対策として、事前予約制とし、予約受付をLINEで行い、併せて、昨年と同様に電話予約も行うとの報告がありました。

委員から、予約せずに来庁した人への対応は可能かとの問いに、今回は収入区分によって受付開始日を分けており、対象外の収入区分の申告をする人は、本来の受付日に予約を取っていただくように案内するとのこと。

建設産業部

建設産業部長から、来年度の建設産業部の組織機構に関して、一丁目一番地に位置づけている

JR 古賀駅周辺開発のさらなる推進を図るため、現行の古賀駅周辺開発推進室を課に変更する予定との報告がありました。

建設課

土木係から、主要な事業の進捗、西鉄宮地岳線跡地の報告がありました。

管理係から、県事業工事の報告がありました。

地籍調査係から、地籍調査事業の進捗の報告がありました。

委員から、JR 千鳥駅東口整備の進捗状況と文化財の発掘調査のスケジュールはどの問いに、JR 千鳥駅東口については、現在、詳細設計を進めており、JR や西鉄バスと協議を行っている。発掘調査については、昨年末に試掘を実施し、遺跡が発見されたことから、現在、スケジュールを調整中とのこと。

上下水道課

総務・上水道管理係から、上下水道ラボの報告がありました。

上水道係から、令和4年度の工事箇所、古賀市の水源状況の報告がありました。

下水道係から、令和4年度の工事箇所の報告がありました。

その他として、浄水場の在り方について、今年度中に判断するとし、福岡地区水道企業団と福岡都市圏及びそれらに所属する団体、北九州市と協議を重ねてきたが、各団体とも慎重を期しており、思ったような進展が見られず、来年度以降に最終判断をするとの報告がありました。

1月の寒波の影響による宅内給水管の漏水や凍結に関する相談件数は、1月24日～27日の間に83件あり、水道管本管の被害は確認されていないとの報告がありました。

委員から、浄水場の在り方について、来年度以降に判断するとあるが、市民の考えはどの問いに、古賀市の水道についてのアンケートでは、浄水場を廃止してもよいと答えた人は水道料金の安価を求め、浄水場を残したいという人は安定供給を求めている。バランスよく運営できるように方向性を見いだしたいとのこと。

農林振興課

農林振興係から、農家直売！軽トラ市の開催、フードファクトリー ユガポーノの開始の報告がありました。

農政係から、農業委員会農地パトロールによる遊休農地・違反転用の調査結果、クラウドファンディング型チャレンジ支援事業の報告がありました。

農林土木係から、農業用施設管理事業、農業基盤整備促進事業、防災力強化事業の報告がありました。

その他として、飼料価格高騰対策畜産農業者支援金について、2件の申請手続きが完了し、2月中に合計487万4,000円の交付予定。燃油価格高騰対策農業者支援金について、現在、各農区に案内と申請書を配布しており、2月末申請締切で、3月中に交付予定との報告がありました。

1月3日に当市で発生した高病原性鳥インフルエンザ(以下、鳥インフルエンザ)については、発生の翌日までに殺処分を完了し、1月18日に焼却処分を行い、農場の消毒も完了しているとの報告がありました。

委員から、鳥インフルエンザの原因や他の養鶏場への対応は。また、卵の値段が高騰している等の消費者への影響はどの問いに、原因については、県からの公表はなく把握はしていない。他の養鶏場への影響は移動制限等が一時期はあったが、検査結果で陰性であれば出荷できることか

ら影響はない。卵の値段の高騰は全国的な鳥インフルエンザの蔓延や様々な物価高の影響と捉えているとのこと。

商工政策課

商業観光係から、消費生活センター、フードファクトリー コガボーン、古賀市キャッシュレス商品券（こが pay）、福岡県アンテナレストランでの古賀市フェア、なの花祭りの報告がありました。

JR 古賀駅西口エリア活性化プロジェクトでは、国や県の補助金を受け、JR 古賀駅西口エリア内でまちづくり団体の活動拠点を整備する事業として、2月23日にプレオープニングイベントを開催予定との報告がありました。

事業者支援係から、無料職業紹介所、ふるさと納税自動販売機、電気料金高騰対策事業者支援金の報告がありました。

ふるさと応援寄附について、12月末時点の寄附額が約8億5,600万円であり、令和3年度と同月比で約3億6,500万円の増加となっているとの報告がありました。

委員から、フードファクトリー コガボーンの目的はどの問いに、事業自体は飲食と物販を行っているが、一番の目的は古賀市の特産品のPRの場と考えているとのこと。

ふるさと応援寄附は大きな伸びを示しているが、イベント時期に即したPR方法等を工夫したことやポータルサイトを切り替えた影響があったのか。また、3月末での目標寄附額はどの問いに、ポータルサイトの中で楽天の占める割合が非常に大きく、一番寄附が見込めるところに注力したことが好結果につながった。3月末の目標寄附額は、9億5,000万円とのこと。

電気料金高騰対策事業者支援金の周知方法はどの問いに、市公式ホームページや商工会を通じて会員にチラシの配布を行う。また、農家も事業者として対象となっていることから、農林振興課の窓口でチラシの配布や認定農業者に通知しているとのこと。

都市整備課・古賀駅周辺開発推進室

都市整備課長から、馬渡地区地区計画、釜田地区地区計画、古賀グリーンパーク地区地区計画、古賀市今在家土地地区画整理組合設立認可申請、千鳥ヶ池公園の見晴らしの丘の報告がありました。

古賀駅周辺開発推進室から、JR 古賀駅東口周辺地区まちづくりガイドライン報告会の開催案内の報告がありました。

委員から、防犯のため、公園の除草や樹木の伐採は定期的に行われていると思うが、市民から性犯罪等の相談は届いているかとの問いに、千鳥ヶ池公園の見晴らしの丘に関して、ご指摘のような相談もあり、樹木の伐採をしている。他の公園においては被害に遭ったという声はないが、不安という声は常にあるため、指摘された場所には職員が出向き、伐採や剪定等の対応を行っているとのこと。

千鳥ヶ池公園見晴らしの丘の伐採では、切り過ぎと感じるがとの問いに、樹木の伐採について様々な意見があるが、公園の利用者の安心安全を優先すべきとの考えの下、間伐整備をしたとのこと。

千鳥ヶ池公園の野球場のライト側フェンスを打球が越える場合があるので、伸長整備を行うべきではとの問いに、今、野球チームの監督を通じて状況を調査しているとのこと。

以上、議会閉会中の所管事務調査報告を終わります。